

日南市の全国学力・学習状況調査(令和7年度)結果について

日南市教育委員会

皆様におかれましては、日頃から本市の教育活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

令和7年4月14日(月)から17日(木)に、全国の小学6年生(国語・算数・理科)、中学3年生(国語・数学・理科)を対象とした「全国学力・学習状況調査」が行われました。

今年度の調査結果より、本市における対象学年の児童生徒が、どのような学力・学習状況にあるのか、現状と課題をまとめましたので、概要をお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査の問題等は、
国立教育政策研究所のホームページ
で御覧いただけます。

【 URL 】

<https://www.nier.go.jp/>

全国学力・学習状況調査結果の概要

日南市における小学6年生、中学3年生の全国学力・学習状況調査(国語、算数・数学・理科)の結果は、小学校、中学校ともに全国的な水準にあと一歩という状況です。

以下に、小学6年生と中学3年生の調査結果から「正答率の高い内容」と「課題が見られる内容」についてご紹介します。

小学6年生 調査結果から

国語	【正答率の高い内容】
	◇自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる 〔問題番号1の三 1(1)(短答式)〕
	◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる 〔問題番号2の四アイ(短答式)〕
	【課題が見られる内容】

◆事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる
〔問題番号3の二(2)(選択式)〕

◆目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる
〔問題番号3の三(2)(記述式)〕

算数	【正答率の高い内容】
	◇平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図できるかどうかをみる 〔問題番号4の(1)(短答式)〕
	◇異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる 〔問題番号3の(4)(短答式)〕
	【課題が見られる内容】

◆数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数幾つ分として捉えることができるかどうかをみる
〔問題番号3の(3)(短答式)〕

◆「10%増量の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる
〔問題番号4の(4)(選択式)〕

理科	【正答率の高い内容】
	◇ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかを見る 〔問題番号3の(1)(短答式)〕
	◇水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる 〔問題番号4の(1)(短答式)〕
	【課題が見られる内容】

◆身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引きつけられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる
〔問題番号2の(1)(選択式)〕

◆水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる
〔問題番号4の(3)力(選択式)〕

中学3年生 調査結果から

国語	【正答率の高い内容】	
	◇目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができているかどうかをみる	〔問題番号1の二(選択式)〕
	◇事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる	〔問題番号3の三(選択式)〕
	【課題が見られる内容】	
	◆自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる	〔問題番号1の四(記述式)〕

	◆相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる	〔問題番号4の二(選択式)〕
--	--	----------------

数学	【正答率の高い内容】	
	◇多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる	〔問題番号3(短答式)〕
	◇必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる	〔問題番号7の(1)(短答式)〕
	【課題が見られる内容】	
	◆素数の意味を理解しているかどうかをみる	〔問題番号1(選択式)〕

	◆統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる	〔問題番号9の(2)(短答式)〕
--	--	------------------

理科	【正答率の高い内容】	
	◇仮説を立てて科学的に探求する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができるかどうかをみる	〔問題番号3(1)(選択式)〕
	◇地域の言い伝えを科学的に探求する学習場面において、大地の変化と地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる	〔問題番号8の(1)(記述式)〕
	【課題が見られる内容】	
	◆ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において実験の様子と、密度に関する知識及び技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できるかどうかをみる	〔問題番号4(1)(選択式)〕

	◆気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いているかどうかをみる	〔問題番号9の(2)(選択式)〕
--	--	------------------

児童質問紙・生徒質問紙から

○	特に顕著であった内容は、ICT 機器の活用について、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒が全国平均値よりも大幅に上回っている。
○	「将来の夢や目標を持っている」「道徳の授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」の問いに対する肯定的な回答の割合が、全国平均値より高い。また、「家庭における本の所持数」が全国平均値よりも高い。
●	「土曜日や日曜日などの学校が休みの日の勉強時間」「分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で考え方を考え、工夫することができる」「発表の機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫し発表していた」の問いに対する肯定的な回答の割合が、全国平均よりやや低い。

各家庭で取り組んでいただきたいこと

- ICT 機器を効果的に活用するためにも、スマートフォン等を使用しているゲームや SNS、動画視聴などについては、節度ある使用を目指した家庭でのルールを決めていただき、見守りをお願いします。
- 新聞などでニュースに触れたり、本に親しんだりする時間を設けてください。また、疑問に思ったこと、知りたいことなどはお子さんが自分で調べたり、一緒に考えたりする時間を設けることで、思考力等の更なる向上に期待ができます。
- お子さんのできるようになったこと、頑張ったことなどを積極的に褒めていただき、家庭学習の取組の声かけや見届けをお願いします。